

陸上の楽しさや基本フォームを学んだ陸上教室



コーチは日本のトップ選手 小中学生対象に陸上教室

栃木県を中心に活動する総合型地域スポーツクラブ「佐野スポーツアカデミーセンター・サークルジュヴィ8」(奥澤康夫ヘッドコーチ)は9日、北上陸上競技場で陸上教室を開きました。

市内の小中学生72人が参加。日本選手権男子三段跳3位の石川和義選手ら32人が指導に当たりました。渡邊雄星君(北上中2年)は「走幅跳の踏み切りに勢いがつくようになった」と効果を実感。同教室は11月にも開催され、世界陸上日本代表の斎藤仁志選手らがコーチとして訪れます。

学生日本一を目指し熱戦 3年ぶりに北上で開催

全日本学生ソフトテニス大会は7日から14日まで、和賀川グリーンパークテニスコートを主会場に行われました。全国106大学から約2,000人の学生が参加。学生日本一をかけて熱戦を展開しました。

同大会は平成18年にも北上で開催。開会式では、伊藤市長が「(前回の北上大会では)皆さんのプレーに小中学生が感動し、その世代が好成績を収めている。今回も素晴らしいプレーを見せてほしい」と選手を激励。競技の結果、大学対抗では、男子が早稲田大学、女子が東京女子体育大学が優勝しました。



全国の大学生が日本一を目指して熱戦を展開しました

科学の不思議を楽しく学ぶ 小学生が工場で実験

北工業団地の「岩手スリーエム」(後藤聡代表取締役社長)は1日、「夏休み子ども科学実験館」を開きました。立花・二子小学校などの児童33人が、「音の科学」「気球を作ろう」「スーパーボール作り」の3つのテーマで科学を楽しく学びました。

スーパーボール作りは、ゴム液にレモン汁を加え、割りばしでかき混ぜて凝固させる実験。固まったものを丸めるとスーパーボールが出来上がります。木村李沙子さん(二子小6年)は「思ったよりも簡単。ボールが弾む仕組みが分かった」と喜んでいました。

思い思いの絵の具を混ぜて作ったスーパーボールで遊ぶ参加者



人間や虹、シラユリ、コスモスなどが描かれた壁画

工業団地に鮮やかなアート 人間と環境の調和テーマに

市内の高校4校の美術部員は5、6日の両日、南部工業団地の自動車部品製造会社「ケー・アイ・ケー」(金井雅仁代表取締役社長)の外壁に人間と環境の調和をイメージした絵を描きました。デザインを担当したのは黒沢尻北高1年の照井志保さん。炎天下の中、全長44mのコンクリート製の壁に、黒沢尻北、黒沢尻南、北上翔南、専大北上高の延べ54人の部員が作業に当たりました。

4校の美術部は、これまでに空き店舗のシャッターや農業倉庫の壁に描いています。

多聞院伊澤家は改修中のため、隣接する久那斗神社で開かれた青空法話



平泉の浄土の世界にふける 中尊寺山田貫首が法話

和賀地区自治協議会(高橋利典会長)主催の歴史・文化講座「青空法話」は7月25日、和賀町岩沢の多聞院伊澤家に隣接する久那斗神社で開かれました。地域住民など約150人が参加。同地区とゆかりの深い平泉町・中尊寺の山田俊和貫首の法話に耳を傾けました。

山田貫首は、「この地を浄土に」と題し、平泉の世界遺産登録に向けた準備や浄土思想について語り、「すべての人を極楽浄土に連れていきたいという思想が金色堂に込められている。平泉の文化遺産の根本は清衡の心」と強調しました。

助成金受け防災機材を整備 長沼1区自主防災部会

長沼1区自主防災部会(武田孝男部会長)は7月26日、総合防災訓練を行いました。同会は宝くじの助成金を受けて、AEDや折りたたみ式リヤカー、簡易トイレなど防災機材を整備。訓練は大地震が発生したことを想定し、機材の使用方法や班ごとの役割を確認。参加した約50人の地区住民は、真剣な面持ちで訓練に励んでいました。

武田部会長は「有事のときばかりでなく地域の行事にも使用し、機材の周知や防災意識の高揚につなげていきたい」と話していました。

AEDの使用方法について訓練する住



泥だらけでハッスルプレー 休耕田利用しイベント

第9回「あそぼう！どろんこ夢まつり」(同実行委員会主催)は2日、江釣子史跡センター付近の休耕田で開かれました。小中学生を中心に地域住民約150人が参加。水を張った田んぼで、宝探しゲームやどろんこバレーボールなどが行われました。

バレーボールには江釣子中学校の生徒や小学校の教員ら4チームが出場。足元がぬかるむ中、熱戦が繰り広げられました。同中2年の高橋侑里さんは「最初は動くことができなかったけれど、みんなで泥に突っ込んで楽しかった」と笑顔で話していました。



好プレーが続出したどろんこバレーボール



家族と共に祝福を受ける昆野さん。好物はお刺身なのだそうです

畑仕事に汗流し元気に百歳 口内町の昆野さん

口内町にお住まいの昆野チテウエさんが百歳を迎え7月27日、自宅に伊藤市長が訪問し祝い状と記念品を贈りました。

昆野さんは明治42年7月24日生まれ。17歳の時に故武治さんと結婚。子ども4人をもうけ、孫13人、ひ孫32人、やしゃご1人に恵まれています。趣味は働くことで、週1回デイサービスに通うほか、今も毎日畑仕事に励んでいるそうです。百歳になった感想を聞かれると、「みんなにお祝いされてうれしい」と元気に話していました。